

### 1229 $^{67}\text{Ga}$ -citrate の diffuse pulmonary concentrationについて

浅野 章, 広瀬仁一郎, 西野茂夫, 上北洋一,  
早坂和正, 菊池雄三, 三橋英夫, 天羽一夫  
(旭医大, 放)

我々の教室で、昭和54年4月より昭和56年4月までの2年間に実施した gallium scan は441例あり、そのうち diffuse pulmonary concentration を示したものは39例(7.9%)あった。

diffuse pulmonary concentration の grading は Gupta らの grading に従い、正常の肝より uptake は低いが、心臓が陰性像として描出され、肺野の輪郭が明瞭なものを Grade I, 正常の肝と同等の uptake のものを grade II, 肝よりも uptake の高いものを grade III とした。

その結果、陽性の36例中 grade I が26例(72%), grade II が7例(19%), grade III が3例(9%)であった。

2度以上の検査で、著しい uptake の改善を認めたものが3例あり、それらは pneumocystis carinii, drug induced pneumonitis, hypersensitive pneumonitis の3例であった。

diffuse pulmonary concentration の原因疾患につき検討し、文献的考察を加えた。

### 1231 肺癌の糖代謝と加療

鈴木恒雄、東海芳道、山内則子、飯尾正明（国療中野）今村恵子（聖マリアンナ医大 放）

前回第20回核医学会総会にてサイクロトロンによって作り出された、 $^{14}\text{C}$ を利用し、 $^{14}\text{C}$ でラベルした $^{14}\text{C}$ -グルコースを製造し、肺癌患者に経口投与し、肺癌細胞によく取り込まれ、非肺癌患者には取り込まれにくうことより、肺癌と非肺癌の鑑別診断に有用であった。すなわち肺癌32例のうち28例は癌細胞に $^{14}\text{C}$ -グルコースが集積し、アドレアマイシン動注、ブレオマイシン局注、放射線治療の2例、計4例は糖代謝が停止し、非肺癌疾患21例中1例のteratomaは活性代謝型式を示した。リニアック照射は約2500 radで糖代謝の低下を確認でき、本法は癌細胞のエネルギー代謝の観察に適していた。今回は肺癌の加療の影響について検討し、報告する。

### 1230 胸腺疾患の胸腺シンチグラムと臨床病理に関する研究

杠 英樹, 志田 寛, 森本雅己, 井之川孝一,  
池田 裕, 津金次郎（信大, 第2外科）  
中西文子（信大, 放） 丸山雄造（信大, 病理）

胸腺疾患に  $^{75}\text{Se}$ ,  $^{67}\text{Ga}$  および  $^{201}\text{Tl}$  による胸腺シンチを行い、その所見と手術および組織所見を検討した。

胸腺腫13例に  $^{75}\text{Se}$  シンチ、そのうち11例に  $^{67}\text{Ga}$  シンチ、さらに4例に  $^{201}\text{Tl}$  シンチを行った。胸腺腫を伴わない重症筋無力症では9例に  $^{75}\text{Se}$  シンチ、そのうち4例に  $^{67}\text{Ga}$  シンチ、さらに1例に  $^{201}\text{Tl}$  シンチを行った。

胸腺腫では  $^{75}\text{Se}$  で13例中10例に集積像が認められ、2例に軽度集積像が認められた。 $^{67}\text{Ga}$  では11例中7例に集積像が認められ、2例に軽度集積像が認められた。

$^{201}\text{Tl}$  では4例全例に集積像が認められた。手術所見では胸腺腫13例中播種または Implantation を認めたもの4例、隣接臓器への浸潤4例、腫瘍細胞の被膜内浸潤が認められたもの3例であった。組織型では混合型5例、リンパ球型3例、上皮型3例および胸腺ホジキン病2例であった。重症筋無力症9例では  $^{75}\text{Se}$  で2例に軽度集積像が認められ、 $^{67}\text{Ga}$  では4例中3例に軽度集積像が認められた。1)  $^{201}\text{Tl}$  シンチは胸腺腫に集積像を示した。

2)  $^{67}\text{Ga}$  シンチはリンパ球型であり強く集積像を示した。

3)  $^{75}\text{Se}$ ,  $^{67}\text{Ga}$  シンチは Implantation に強く集積像を示した。

### 1232 卵巣癌は $^{201}\text{Tl}-\text{Chloride}$ で描画できるか。

戸張千恵、設楽厚司、黒沢洋（東邦大、放）  
渡辺謙、室井克夫、大村剛、野口昭二（東邦大、産婦）

$^{201}\text{Tl}-\text{Chloride}$  は、子宮良性腫瘍（子宮筋腫、腺筋症）および子宮体部癌のⅡ期以降の症例に陽性像が得られるることは周知の通りである。一方、婦人科領域の悪性腫瘍としては、卵巣癌の体外診断ができるか否かの問題が残る。

今回、われわれは、 $^{201}\text{Tl}-\text{Cl}^- 2\text{mCi}$  を静注し、通常のごとく20分後に画像を得る方法で、卵巣腫瘍について検討したので報告する。

その結果、卵巣囊腫を中心とした良性腫瘍には明らかに、腫瘍内および辺縁とともに集積は認められなかった。一方、悪性腫瘍例も囊胞状を呈する例の集積は不明であったが、超音波断層と CT 上充実性で CE 陽性が認められる症例では、集積が認められるようであった。

未だ症例は少ないが、 $^{201}\text{Tl}-\text{Cl}^-$  は血流の多い充実性の卵巣癌には応用可能と思われた。